

令和2年度

事業報告書

令和3年6月4日

公益財団法人加古川総合保健センター

事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

第1 事業の経過及びその成果

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、当法人においても外出自粛等による利用客減に加え、健康診断については緊急事態宣言の発令に伴い4月、5月と施設・巡回とも受け入れを休止するなど、事業環境はかつてないほど厳しいものとなった。

このような状況のもと、感染症対策としていわゆる「3密」(密閉・密集・密接)の状態を回避することにより、健康診断受診環境の確保に努め、6月より受け入れ人数を制限し健診事業を再開し、その後受け入れ人数を徐々に増やし、受診者数を対前年度比90%まで戻せるように取り組んだが、結果は平年を大きく下回る厳しいものとなった。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響は、健診事業のみならず、検査事業、介護事業にも影響し、いずれの事業においても昨年実績より下回る結果となった。

また、当法人主催の市民向けの講演会やウェルネージかこがわ健康フェアについても開催を見送るとともに、行政主催の健康関連イベントも開催されず参加はしなかった。

I. 公益目的事業	予算額(円)	決算額(円)	達成率(%)
地域保健医療情報に関する事業	96,030,000	96,030,000	100.0
健康診断等に関する事業	1,144,927,000	1,009,556,930	88.2
臨床検査等の検査に関する事業	607,596,000	592,934,425	97.6
II. 収益事業	予算額(円)	決算額(円)	達成率(%)
介護保険に関する事業	39,039,000	30,530,500	78.2
不動産貸付等事業	1,362,000	1,350,253	99.1

第2 主要な事業内容

I. 公益目的事業

健康診断・臨床検査等を通じて収集・蓄積した保健医療情報について、医療・行政機関などでの共有等を可能とするため構築した「地域保健医療情報システム」を維持管理し、健康づくりを支援する事業については以下の通りである。

1. 地域保健医療情報に関する事業

対象地域：加古川市、稲美町、播磨町

対象者：地域内のシステム参画医療機関に通院されている患者、当センターの健診受診者

事業実施数（2020年4月1日～2021年3月31日）

▶システム登録者数

- ・同意者 新規 743名／累計 60,062名
- ・健診受診者 新規 2,703名／累計 103,052名
- ・合計 新規 3,446名／累計 163,114名
累計（H3～死亡者数 203,535名）

▶カインドカード発行枚数 新規 719枚／累計 48,158枚

▶感染症情報提供ホームページへのアクセス件数 42,928件

▶システム参画医療機関数 新規 2機関 / 廃院 1機関 / 累計 131機関

(1) システム運用管理事業

1) 新規参画医療機関の募集

令和2年度新規参画医療機関は、新規開業に伴う参画希望の1医療機関を含む2医療機関に決定した。（ともに播磨町に所在の医療機関）

2) システム利用促進

住民への普及定着の促進のため、特定健診実施医療機関に「特定健診受診者向け地域保健医療情報システム加入案内」を持参し、健診対象者へのシステム加入勧奨を依頼した。

（令和2年7月6日～令和2年7月17日、対象機関88機関、1,800枚配布）

3) 参画ドクター会議の開催

今年度はWEB会議形式を取り入れ、非参画機関も加わった「加古川医療情報連携フォーラム」を令和3年2月13日に開催した。

(2) システム事業

1) 1年間のシステム利用状況 システム画面利用回数 395,972回（月平均32,998回）

2) ファイアウォール機器の更新

加古川地域保健医療情報システム内のネットワークへインターネットを通じて接続しようとした際に、外部からの不正な接続を遮断する役割を持つ機器を令和3年1月14日に更新した。

3) 通信基盤の利用支援

システムの通信基盤であるIP-MEMBERSを活用した利用環境に関しては、回線の変更やレセプトオンライン請求に係る電子証明書更新作業を18機関で実施した。

(3) 運営委員会等システム事業関連委員会の開催

a) 地域保健医療情報システム三行政主管課長会議

（第1回 令和2年11月9日開催、第2回 令和3年3月24日開催）

(4) 加古川地域住民健康情報活用事業（かこがわ健康BOX）

a) 利用者（新規 68名／累計 2,796名）

b) ホームページによる情報発信（セミナー・イベント情報 14件、健康づくり情報 135件、健康診断情報等 5件）

c) システム登録者フォローアップ（電話 61件、訪問 4件、メール 0件）

2. 健康診断等に関する事業

(1) 各種健診等の実施状況

緊急事態宣言の発令により、4月から5月にかけて一部の特殊健診を除き健康診断の受け入れを中止し、その後6月1日より再開した。再開にあたっては、3密の回避のため受診者数を制限し、感染防止対策を徹底した。その後、感染状況により徐々に受け入れ受診者数を増やし、健診時間の延長や健診日程を増やして対応した。

1) 特定健診・特定保健指導等について

- 体温チェック、手指消毒等により新型コロナ感染防止対策を徹底して受診者を受け入れた。
- 受診機会を確保するため、施設内大会議室や公民館等での健診を追加開催した。
- 特定保健指導・糖尿病改善教室・予防教室を受託し、コロナ禍において安全に開催した。
糖尿病教室においては受講者の約半数のHbA1c値が健診受診時より改善した。
- 健保向け保健指導について、受診数は減少するなか、積極的に勧奨を行い245名に実施した。
- 事後指導（簡単健康チェック）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、行政からの依頼も含めて今年度は実施しなかった。

特定健診の実績数

健診名	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	加古川市	稲美町	播磨町	国保外	昨年度 実績比
特定健診(集団)	12,000	9,215	76.8	5,800	728	965	1,722	-2,228
特定健診(個別)	12,000	10,447	87.1	8,711	767	969	-	-694

特定保健指導の実績数

実施団体名	動機付支援	積極的支援	うち当日実施	後日実施
加古川市国保	69名	20名	60名	29名
稲美町国保	5名	1名	6名	0名
播磨町国保	3名	0名	3名	0名
合計	77名	21名	69名	29名

糖尿病改善教室の実績数

実施団体名	対象者	参加者	改善者/改善確認者(率)
加古川市国保	1,316名	85名	44名/77名 (57.1%)
播磨町国保	345名	42名	10名/33名 (30.3%)
合計	1,661名	127名	54名/110名 (49.1%)

※対象者 加古川市はHbA1cが6.6以上8.0%未満かつ特定保健指導対象外に該当する人で改善を目的とする。

播磨町はHbA1cが6.0~6.4%に該当する人で予防を目的とする。

健診データと教室終了時でHbA1cの値が減少したことを改善者とした。

健保組合を対象とした特定保健指導の実績数

実施団体名	動機付支援	積極的支援	うち当日実施	うち後日実施
建設国保	5名	4名	8名	1名

共済組合	17名	22名	37名	2名
組合健保	42名	34名	21名	55名
協会けんぽ	68名	53名	118名	3名
合計	132名	113名	184名	61名

2) がん検診等について

緊急事態宣言の発令により、健康診断の開始が1ケ月半遅れた。また、3密の回避のため受け入れ人数を制限した上、行政からの積極的な受診勧奨が実施されなかったこと、2度目の緊急事態宣言の発令等により、胃内視鏡検査を除いて全ての検診で受診者数が減少した。なお、例年協賛している日本乳がんピンクリボン運動ジャパンマンモサンデーについては、感染防止対策を徹底した上で、10月18日（日）に実施し、受診率向上に努めた。

がん検診等の実績数

健診名	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	加古川市	稲美町	播磨町	国保外	昨年度 実績比
肺がん検診	11,500	8,147	70.8	6,110	871	1,166	-	-1,882
胃がん検診	5,000	3,092	61.8	2,395	374	323	-	-946
胃がんリスク検査 (ABC分類)	1,200	656	54.7	430	15	211	-	-185
大腸がん検診	13,000	9,980	76.8	7,786	957	1,237	-	-1,922
子宮頸がん検診	3,400	1,980	58.2	1,619	169	192	-	-1,465
乳がん検診	5,200	3,110	59.8	2,569	238	303	-	-1,847
骨粗しょう症検診	5,300	3,992	75.3	3,231	307	454	-	-845
肝炎ウイルス検診	2,500	2,580	103.2	2,047	118	415	-	-494
胃内視鏡検査	600	609	101.5	535	31	43	-	55
胸部CT検査	850	593	69.8	521	24	48	-	-82
乳腺エコー検査	400	201	50.3	165	12	24	-	-27
前立腺がん検査	2,200	1,685	76.6	1,345	156	184	-	-450

3) 学校健診について

加古川市、稲美町、播磨町の幼稚園29園、小学校38校、中学校17校、高等学校40校、大学2校の計126校を対象に結核検診、心臓検診、腎臓検診、運動器・脊柱側弯検診を実施した。なお、結核検診については4月から3月へ受診時期の変更、心臓・腎臓検診については検査内容の一部変更により、受診者数の増減があった。

学校健診の実績数

健診名	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R元年度 実績数	対前年度 実績増減数
結核検診	7,800	8,519	109.2	7,509	1,010

心臓検診	16,200	15,688	96.8	18,683	-2,995
腎臓検診	52,000	49,855	95.9	51,603	-1,748
脊柱側弯検診	6,150	6,442	104.7	6,329	113
運動器検診	6,500	6,921	106.5	6,806	115

4) 事業所健診の実施状況

- a) 定期健診・・・契約解除と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3,470名の減少となった。
- b) 協会けんぽ健診・・・契約解除と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1,548名の減少となった。
- c) その他・・・協会けんぽ健診の受診数減少に伴い、がん検診・眼底検査の受診者数も減少した。

事業所健診の実績数

健診名	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R元年度 実績数	対前年度 実績増減数
定期健康診断	35,000	29,158	83.3	32,628	-3,470
協会けんぽ健診	20,000	17,646	88.2	19,194	-1,548
特殊健診	13,240	15,099	114.0	16,422	-1,323
胃がん検診	13,400	10,373	77.4	11,759	-1,386
大腸がん検診	26,900	22,343	83.1	24,060	-1,717
子宮がん検診	3,000	2,721	90.7	3,065	-344
乳がん検診	2,500	2,401	96.0	2,646	-245
腹部超音波検査	1,000	1,437	143.7	1,336	101
眼底検査	9,500	8,815	92.8	9,225	-410
ストレスチェック	19,000	18,131	95.4	17,317	814

5) 人間ドックの実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人間ドックの受診を見送る健保組合があり、全体として665名の減少となった。

人間ドックの実績数

健診名	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R元年度 実績数	対前年度 実績増減数
2時間ドック	2,000	1,312	65.6	1,729	-417
1日ドック	3,500	2,667	76.2	2,873	-206
新コースドック	500	319	63.8	361	-42

6) 集団健康教育、健康相談等

①集団健康教育

・加古川市、稲美町、播磨町の委託事業として医師講演会を6回実施した。予定していた稲美町の4回が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

②健康相談

・医師、保健師、管理栄養士が対応。
 ・毎週月～土曜日に電話相談134件、面接相談による健康相談23名を実施した。

7) がんの発見状況(住民健診)

(令和3年4月22日現在の状況)

検診名	受診数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診数	精検受診率(%)	がん発見数
胃がん検診	3,092	149	4.8	82	55.0	1
胃がんリスク検査(ABC分類)	656	190	29.0	88	46.3	2
肺がん検診	8,147	198	2.4	164	82.8	3
子宮がん検診	1,980	21	1.1	13	61.9	1
乳がん検診	3,110	149	4.8	121	81.2	13
大腸がん検診	9,980	590	5.9	364	61.7	11
胃内視鏡検診	609	38	6.2	15	39.5	3
胸部CT検査	593	21	3.5	17	81.0	2
乳腺エコー検査	201	39	19.4	30	76.9	0
前立腺がん検診	1,685	121	7.2	63	52.1	4

8) 健診、検査の精度管理

お客様から信頼される健診・検査を実施すること、また検査スタッフの責任、意欲の向上のため、下記の通り学会・研修会等へ積極的に参加した。

令和2年度においては、マンモグラフィ検診施設・画像認定施設更新認定を受けた。

a) 内部精度管理(専門部会の開催状況)

専門部会名	開催日	協議事項
胃腸部会	令和3年2月	資料配布、検診結果報告その他
胸部部会	令和3年2月	資料配布、検診結果報告その他
子宮がん部会	—	未実施
乳がん部会	令和3年3月	部会長引継ぎ会議
腎臓検診部会	令和3年2月	引継ぎ、検査項目の変更による評価等
心臓検診部会	令和3年2月	資料配布、検診結果報告その他
脊柱・運動器検診部会	令和2年9月	検査結果報告その他
人間ドック部会	—	未実施

住民健診部会	令和2年6月	健診結果報告、市町の取組みその他
胃内視鏡検診運営委員会	令和2年5月 令和2年12月 令和3年3月	第1回運営委員会 研修会 第2回運営委員会（書面決議）

b) 外部精度管理

調査名	年月	評価団体	判定
腹部超音波精度管理	令和2年12月	全国労働衛生団体連合会	A
胸部X線検査精度管理	令和2年11月	全国労働衛生団体連合会	A

c) 第三者機関による認定状況

(令和3年3月31日現在)

名称	認定日	評価団体	更新
人間ドック施設機能評価	令和2年4月	日本人間ドック学会	2回目
労働衛生サービス機能評価	令和2年6月	全国労働衛生団体連合会	4回目
マンモグラフィ検診施設・画像認定施設	令和2年9月	日本乳がん検診精度管理中央機構	3回目

d) 学会発表

発表学会	年月	演題	発表者
人間ドック学会	令和2年11月	20才時からの体脂肪増加と生活習慣病	宇高 功
人間ドック学会	令和2年11月	マンモグラフィ受診者への実態調査と撮影時における取組み～サービス向上を目指して～	宮崎 奈美

e) 認定資格等取得状況

(令和3年3月31日現在)

資格名	資格取得者	評価団体
超音波検査士	4名	日本超音波医学会
乳がん検診超音波検査実施技師	2名	NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	4名	NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
肺がんCT検査認定技師	1名	NPO 法人肺がんCT検診認定機構
胃がん検診専門技師	3名	NPO 法人日本消化器がん検診精度管理評価機構
THP 心理相談員	2名	中央労働災害防止協会
THP 産業保健指導者	1名	中央労働災害防止協会
人間健康情報管理指導士	7名	人間ドック学会
衛生管理者	11名	安全衛生技術試験協会

3. 臨床衛生等の検査に関する事業

(1) 検査事業における実施状況

1) 検体獲得に向けた医療機関への情報発信

2) 医療機関の検査、健診の検体について

- a) 令和2年4月より子宮頸がん検体の液状細胞診運用を開始した。
- b) 令和2年11月より SARS-CoV-2 抗体（定性）検査を開始した。
- c) 令和2年12月より SARS-CoV-2 PCR 検査を開始した。
- d) SARS-CoV-2 抗体（定量）検査の運用開始に向け準備を進めた。

3) 検査データ WEB 配信システムについて

検査データ WEB 配信システムの利用機関は、結果参照の迅速性、電子カルテとの連携の利便性を PR することにより、68 機関となった。

4) 外部精度管理の結果

下記の外部精度管理に参加し、概ね良好な結果を得た。

調査名	開催日	調査対象部門	評価
日臨技精度管理調査	令和2年8月	検査全体	A 99.2 %
日本医師会臨床検査精度管理調査	令和3年3月	生化学・血液学・免疫学	99.7 点
兵庫県臨床検査精度管理調査	令和2年11月	検査全般	A 99.4 %
労働衛生検査に関する精度管理調査	令和3年2月	有機溶剤・鉛	A 100.0 %
全国労働衛生団体連合会精度管理調査	令和3年2月	生化学・血液学・尿一般	A 99.6 %

(2) 検査事業による事業実施数

1) 医療機関の検体検査

4月～7月において検体数の減少がみられたにも関わらず、達成率は合計で104.2%となった。ただし、令和元年度実績までは回復できていない。なお、SARS-CoV-2 PCR 検査の依頼増により、微生物の検体数が増加した。

医療機関の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	R2 年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R 元年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学 I	175,000	180,496	103.4%	184,446	-3,950
生化学 II	9,200	9,414	102.3%	9,354	60
血液学	165,000	168,527	102.1%	171,832	-3,305
免疫学	65,000	66,493	102.3%	67,960	-1,467
尿・糞便	15,000	14,995	100.0%	15,670	-675
微生物学	26,000	28,368	109.1%	30,815	-2,447
細胞診	8,000	9,303	116.3%	7,015	2,288
病理組織学	3,200	2,706	84.6%	3,321	-615
アレルギー検査	3,500	3,252	92.9%	3,810	-558
特別検査	46,500	54,973	118.2%	52,274	2,699

外注検査（件数） （うち風疹抗体）	44,000	44,938 (2,983)	102.1%	43,877 (2,305)	1,061 (678)
合計	560,400	583,976	104.2%	590,374	-6,398

2) 健診事業の検体検査

全体的に緊急事態宣言下の健診中止による影響により検体数が減少した。特にがん検診の便ヒトHb検査の検体数減少が著しい。全体では対前年度比で62,622件の減、達成率は80.2%となった。

健診の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R元年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	85,430	72,573	85.1%	81,402	-8,829
生化学Ⅱ	8,800	6,961	79.1%	7,722	-761
血液学	87,030	72,484	83.3%	81,200	-8,716
免疫学	8,680	8,515	98.1%	9,536	-1,021
尿・糞便	97,300	62,326	64.1%	90,952	-28,626
微生物学	370	385	104.1%	401	-16
細胞診	9,090	7,312	80.4%	10,806	-3,494
病理組織学	0	0	0%	49	-49
特別検査	12,850	13,665	106.3%	14,740	-1,075
外注検査（件数） （うち風疹抗体）	20,055	20,237 (1,853)	100.9%	30,364 (2,926)	-10,127 (-1,073)
合計	329,705	264,550	80.2%	327,172	-62,622

3) その他（事業所診療所、地域外医療機関、福祉施設等）

SARS-CoV-2 PCR検査の依頼増により、微生物部門の検体数が増加した。全体では対前年度比で2,959件の減、達成率は98.3%となった。

その他の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	R2年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R元年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	3,900	3,627	93.0%	4,362	-735
生化学Ⅱ	40	32	80.0%	41	-9
血液学	3,900	3,913	100.3%	4,319	-406
免疫学	2,600	1,873	72.0%	3,084	-1,211
尿・糞便	3,100	3,095	99.8%	3,326	-231
微生物学	310	1,330	429.0%	1,439	-109
細胞診	50	64	128.0%	114	-50
病理組織学	10	61	610.0%	24	37
アレルギー検査	70	34	48.6%	34	0
特別検査	3,430	3,287	95.8%	3,288	-1

外注検査（件数） （うち風疹抗体）	900	680 (85)	75.6%	925 (59)	-245 (26)
合計	18,310	17,997	98.3%	20,956	-2,959

II. 収益事業

1. 介護保険に関する事業

(1) 介護保険事業における実施状況

年間計画数 5,070 件に対し 3,965 件の実績で計画数を下回っている。理由として、新型コロナウイルス蔓延による申請控えが考えられる。

事業名	R2 年度 計画数	実績数	達成率 (%)	R 元年度 実績数	対前年度 実績増減数
要介護認定調査	5,070	3,965	78.2%	5,363	-1,398

2. 不動産貸付等の事業について

(1) 不動産貸付

1) 駐車場賃貸

ウェルネージかこがわ立体駐車場の一部を加古川医師会等に賃貸している。

賃貸料 1,260 千円（年額）

(2) 駐車場の提供

ウェルネージかこがわ立体駐車場は、業務時間内は健診受診者等の利用に充てているが、業務時間外の夜間・休日は、誰でも利用できるように配慮している。

(3) 飲料水の自動販売機の設置

III. その他

1. 設備投資について

機器関係	取得額（円）	資産名称等
情報機器関係	3,558,280	ファイアウォールサーバ、パソコン
健診機器関係	121,000	自動血圧計
健診ソフトウェア関係	3,432,000	健診システム改造費 等
検査機器関係	22,080,245	検査 WEB 配信システムサーバ、業務用冷蔵庫、PCR 検査機器、抗体検査装置、遠心機 等

検査ソフトウェア関係	1,196,800	検査 WEB 配信システム改造費
管理機器関係	442,200	耐火金庫 等
建物関係	12,776,500	0A フロア工事、PCR 検査室工事、診察室工事、 ガラス取替工事
車両運搬具関係	33,110,000	胸部X線検診車
合計	76,717,025	

2. 事業運営上の報告

(1) 変更登記申請について

6月22日の定時評議員会において、選任された評議員、理事、監事について、7月3日に変更登記申請を行い、7月13日に登記が完了した。

(2) 公益法人検査（兵庫県立入検査）について

10月14日に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）第59条第2項において読み替えて適用する同法第27条第1項に基づく立入検査が実施された。

(3) 令和3年度職員採用について

7月18日に採用一次試験、8月17日～19日に採用二次試験（面接）を実施。また令和3年3月11日に追加で臨床検査技師の採用一次試験、3月16日に採用二次試験（面接）を実施。計7名が承諾した。

3. ウェルネージかこがわ健康フェア、健康関連イベントについて

ウェルネージかこがわ健康フェアについては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から令和2年度の開催は見送った。また、例年地域住民への健診の普及啓発、当法人PR等のため下記のイベントに参加していたが、令和2年度は開催中止となった。

- ・播磨町「はりま風薫るフェスタ」
- ・稲美町「ふれあいまつり」
- ・加古川市ウェルネス協会「加古川俊足王決定戦」
- ・加古川市「加古川健康フェスタ」「加古川市民スポーツカーニバル」「加古川ツデーマーチ」

4. 職員の資質向上への取り組み

(1) 新人研修

新人職員を対象に4月当初は事業概要、就業規則、各種規程、接遇・電話対応、個人情報保護、安全衛生等についての研修を対面形式で実施したが、緊急事態宣言が発令されたため、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から自宅待機に切り替え、その期間においてはワード・エクセルの演習を行った。5月の緊急事態宣言解除後に、各課事業についての研修を実施した。

(2) 安全運転研修

職員を対象に年2回(10月・3月)「業務車両事故発生状況の確認、動画による危険予知トレーニング」、「自転車利用に関するDVDの視聴覚研修」を実施した。

(3) 防火防災訓練

例年職員を対象に年2回(8月・2月)、火災や地震を想定した防火・防災訓練を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から訓練の実施は見送り、書類配布による訓練を令和3年2月に実施した。

(4) 安全衛生研修

全国労働衛生週間に合わせ、職場内における労働衛生教育の一環としての研修会を毎年開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から実施は見送った。

(5) 出張研修

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から出張研修については、必要最低限のものに限り、健診事業に関する放射線技師、検査技師、保健師、看護師等専門職を対象とした研修2件、検査事業に関する研修6件、地域医療情報事業に関する研修0件、介護事業に関する研修9件、法人における公益法人等の研修0件、保健センター全体で17件の出張研修を実施した。

5. 広報紙「へるす」の発行

地域住民の公衆衛生向上のため、また地域住民への情報発信の充実を図る手段として、健診受診勧奨等の紹介を綴った広報紙「へるす」を、新春号として132,000部発行し、加古川市・稲美町・播磨町の各戸へ新聞折り込み等により配布を行った。

6. 施設見学、視察等について

令和2年度は施設見学や視察はなかった。

7. 組織の状況

保健センターの職種別の組織体制は下記の通り。

職種別職員等構成内訳

(令和3年3月31日現在)

職種	職員	嘱託職員・再雇用等	臨時職員	合計
医師	0名	4名	0名	4名
保健師	6名	0名	0名	6名
看護師	4名	1名	26名	31名
管理栄養士	2名	0名	5名	7名
診療放射線技師	6名	1名	0名	7名
臨床検査技師	21名	5名	22名	48名
介護支援専門員	2名	0名	13名	15名
事務職等(健診助手・集配員含む)	44名	4名	100名	148名
合計	85名	15名	166名	266名